



広報誌に掲載したあなたの写真を差し上げます。希望する人は、市役所広報魅力発信グループへお越しください。

5

夏季企画展「昆虫の色」

9月1日まで狭山池博物館で開催されている夏季企画展「昆虫の色」では、見学に訪れた東小の児童たちが、様々な色のチョウを観察した後、好きな色のチョウを紙工作でつくりました。

7月28日には、狭山池バタフライガーデンの発案者である武田博允さんによる特別講演会も開催されました。

4

ゾンビを止めるな

7月30日、公民館でベンガラ染料を水鉄砲に込めて撃ち合った人々がゾンビになっていくオリジナルの物語「ゾンビを止めるな」のムービーをつくる企画が催されました。

初対面の友だちも多く、最初は緊張気味の子どもたちでしたが、次第に仲良くなり、どう演じるべきか、一生懸命に打ち合わせを重ねて、ムービーづくりに励んでいました。

3

親と子のふれあい自然学習会

8月7日、河内長野市滝畑で親と子のふれあい自然学習会が開催され、85人の親子が参加しました。

参加者は、網を手にも早く動き回る魚や石の下に隠れている生きものを観察し、約20種類の水生生物を確認しました。また、透き通る川で水遊びをしたりお弁当を食べるなど、思い思いに滝畑の自然を満喫していました。

2

ファミリーキャンプ

8月3日、市民ふれあいの里でファミリーキャンプ2019が開催され、12家族37人が参加しました。この事業は、毎年、親子のふれあいと初めてのキャンプ体験の機会を提供するという趣旨で行われています。

カレーの具材を切ったり、火おこしをする親子の表情は、暑い中でもいきいきとしていました。夜のキャンプファイヤーでは、暗闇の中、炎の前ではしゃぐ子どもたちの姿も。参加者は、Tシャツの草木染めにカレーづくり、キャンプファイヤー、クラフトづくりを2日間にわたり楽しみ、親子で夏の思い出をつくりました。

1

キッズフェスタ 2019

8月17日、SAYAKAホールでSAYAKAキッズフェスタが開催され、今年もたくさんの家族が館内を埋め尽くしました。

「コンベンションホールでは「キッズタウンけんせつ広場」がやってきて、子どもたちはダンブカーやブルドーザーを運転するなどして、建設作業員になりました。

小ホールではけん玉教室が開催され、初めてけん玉を持つ子どもたちも大勢参加しました。初めはあまり上手に玉を扱えていなかった子も、数分で技ができるまでに上達。子どもたちの表情から、だんだんとけん玉の面白さを実感している様子が伝わってきました。